



2月の聖句

そのいえに はいったら
「へいわがあるように」と あいさつしなさい
マタイ10章12節

2月さんびか

ひかり ひかり こどもさんびか52

わかちあって



門の花壇に仲間入りした白木蓮、寒さに耐え、ゆっくりじっくり蕾が膨らんでいく様は子ども達の成長していく姿と重なります。開花は3月中旬。白い小鳥が木々に止まっているような花の姿は、同じ頃、各々の場所に羽ばたこうとする子ども達の雄姿とイメージが重なります。

私達も期待と不安を持ちつつ、進級・進学を乗り越えてきたように、ふたばっこもきっと大丈夫。皆さまが愛情をたっぷり注いで喜びも悲しみもわかちあってこられたのですから……。

ある小学校の先生方と話している時「入学前には色々心配もあるでしょうが、入ってみると、子ども達は思う以上にしっかり歩んでいると思います。だから大丈夫です。」と力強いお言葉を頂きました。行きつ戻りつしながら、やがて心の充電ができれば、また前へ歩いていけることでしょう。子ども達の秘めた力を信じて、祈りつつエールを送り続けましょう。

先月ご紹介した山本忠敬さんの絵本「とべ ちいさいプロペラき」をご存知でしょうか？「初飛行を迎える小さなプロペラ機のいる格納庫へ、大きなジェット機が入ってきました。小さいプロペラ機はすっかり圧倒されてしまいます。するとジェット機が言います。「元気をお出し、プロペラくん。まず、空を飛んでごらん。そうすれば、きっと僕らの大きさのことなど忘れてしまうよ」と。そして、初飛行にのぞんだ小さなプロペラ機は……(後略:福音館の紹介文より)。

以前、この絵本を子ども達と読んでいた時のこと。不意に「飛ばれへんねんで……」とぼろり、当時6歳の★君は思わず心の声が出たようでした。彼は活発で、大人にも果敢に挑んでくる元気者、同級生や年下の子ども達からも人気がありました。でも、実はどこか自信なさげで、甘えん坊……。彼の小さなつぶやきは、絵本の世界に入り込む子ども達に、一瞬小さな波紋を投げかけたようでした。きゅっと、その場の空気が張り詰めました。

ところが！頁を捲った瞬間、皆の表情があっ！と変わり、同時に、場の空気も一変！小さいプロペラ機は不安に打ち勝ち、見事に広い大空へ一杯飛んでいったのです。

1月のふたば会にて聖誕劇の感想をお聴きました。愛らしい歌や台詞に成長を感じたほのぼのの年少さん、身振りの角度もピタッと揃う聖歌隊、綺麗な歌声年中さん、年長で「あの役したい」と期待膨らむ。先生がそばにいても子ども同士で助け合える姿に感動したと年長さん。配役上、一人で言葉を伝える時には声が震えるほど緊張していた子ども達。最後の歌では皆といる安心感から力強い賛美が捧げられていました。今迄積み重ねた体験からイエス様の降誕物語が子ども達の心に浸透し、ご家庭でアドベントカレンダーの窓を捲る毎にその場面の話を家族にする姿もあったそうです。我が子だけでなく、クラス全体の目には見えない育ちを感じ取って下さるお母さん達に改めて感動し、感謝の思いが溢れました。小さな喜びをわかちあうところに平和が見えてきます。ふたばっこの日常も絵本に限らず様々な場面で、子ども達が感じあっている心の機微を大切に見つめていきたいです。【園長】